

連絡システム を

導入しました



感染症の流行や災害等により、ファミリー・サポート・センター事業を休止する場合の連絡や、センターからの注意喚起等をメールやLINEで配信するための連絡システム「さくら連絡網」を今年度から導入しました。

重要！ 登録手順書を同封していますので必ずご登録ください（※）

事業の休止などの緊急連絡以外にも運用ルールの変更などの重要なお知らせも配信されますので、**現在サポートを継続中の会員だけでなく、全ての会員の方に必ずご登録いただくようお願い申し上げます。特に依頼会員の方は登録がお済みでない新規の依頼ができませんのでご注意ください。**

配信を受け取る連絡先は①メール、②アプリ、③LINEの3種類からお選びいただけます。手順書を読んでも登録の仕方がわからない方はセンターまでお問合せください。

（※）令和3年4月以降の依頼会員登録説明会で会員となった依頼会員は既にさくら連絡網登録済のため登録手順書は同封されていません。

QRコード
で簡単！



引き続き感染予防にご協力ください

ファミリー・サポート・センターの活動自体が、お子さんとの密接なやり取り無しには成立しないものです。少しでも不安のある方は活動、依頼をお控えください。

★こんな場合、依頼会員・提供会員ともにサポート中止です。相手会員とセンターに必ずご連絡ください。

☑新型コロナウイルスに感染または濃厚接触者になった場合

☑発熱・咳などの風邪症状があった場合⇒発症から8日以上経過しており、かつ薬を飲まずに症状がなくなってから3日以上経過していることがサポート再開の目安です。

★こんな場合、依頼会員はセンターと提供会員にご連絡ください

☑新型コロナウイルスのため送迎先が休園（校）となった場合

⇒いつまでの休園（校）予定かをあわせてご連絡ください。また、休園（校）に伴う当日キャンセルは、園・学校等から休校の連絡が当日であった場合のみ無料となります。

令和3年度第1回ファミリー・サポート・センター講演会

「あそび」が孤育てを救う！～地域で子どもを見守ることの大切さ～

以前は地域にも開かれていた「子育て」が家族だけのものとして閉じられ「孤育て」となっている現代。講師の西川正さんは、そんな状況の解決策として生活の中に「あそび」＝「ひま、ゆとり、隙間、間柄」を持つことの大切さを提唱されています。

では、生活に「あそび」をつくるために私たちにできることって何でしょう？「社会の仕組みを変える」ことはすぐにできないけれど、身近なところで誰かと一緒に、例えば「ヤキモをする」だったら...？

この講演会では、子育てが孤育てになっていった背景をふりかえりながら、あそびから地域を巻き込むプロジェクト「おとうさんのヤキモタイム」などの活動についてのお話をうかがいます。



～講師プロフィール～

「おとうさんのヤキモタイム」キャンペーンなど、行政・企業を巻き込んだ市民参加型のまちづくりのプロデュース、子育て支援の講師やファシリテーターとして活動中。

日時：6月15日（火）午前10時～正午

場所：区民センター2階 2-A会議室

講師：西川 正（ただし）氏

NPO法人ハンズオン！埼玉 常務理事

対象：区内在住者 定員：50名

託児：定員5名程度（1歳～未就学児）

※要予約6月8日（火）締切

費用：無料

締切：6月11日（金）

申込：下記問合せの電話番号またはメール family@bunsyakyo.or.jpへ。メール申込は当方からの返信メールをもって申込完了。



※新型コロナウイルスの感染拡大状況によりオンライン配信となる場合があります。予めご了承ください。



屋外で人と十分な距離が確保できる場合、熱中症のリスクを考慮し、マスクをはずすことが推奨されています。しかし、サポート中は、安全確保のため手をつなぐので距離の確保ができません。また、預かりは室内で行うため、マスクの着用が欠かせません。

お子さんと提供会員の負担を少しでも軽くするため、送迎ルートや移動手段の再検討をしてみてください。

また、水分補給のため、依頼会員は送迎サポートの日に**水筒を持たせるか、あらかじめ提供会員に飲み物の購入と立替を依頼してください。**

提供会員も、お子さんに水分補給を促すと同時に、ご自分も水分補給してください。

のどが渴いていなくても、こまめに水分をとりましょう。



安心安全にサポートを行うためのチェックリスト

提供会員

- ☐ 体調は活動するのに十分ですか？
- ☐ 日時、場所、サポート対象のお子さんなど依頼内容の確認はしましたか？
- ☐ サポートするお子さんの緊急連絡先全てを控えていますか？
- ☐ マスクはしましたか？

依頼会員

- ☐ お子さんの検温、体調の確認はしましたか？
- ☐ センターにサポートがあることを連絡していますか？（届け出がないと保険対象となりません）
- ☐ マスク、水分補給用の水筒、鍵（依頼会員宅預かりの場合のみ）などをお子さんに持たせましたか？
- ☐ 緊急連絡先にサポートがあることを伝えてありますか？

ファミリー・サポート通信に対するご意見をお寄せください。

ご意見をくださった方にきく文グッズを差し上げます。ご意見は、文京区社会福祉協議会HPのお問い合わせフォーム（下記アドレスを入力するか右のQRコードからアクセスできます）からお寄せください。

<https://www.bunsyakyo.or.jp/contactus/>

ホームページはスマートフォンにも対応しています

皆さまのご意見をお待ちしています！



文京区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「きく文（もん）」

問合せ

文京区ファミリー・サポート・センター

〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 区民センター4階

文京区社会福祉協議会 ささえあいサポート係

電話 03-3812-3043

ホームページ

http://www.bunsyakyo.or.jp/service/family/family_support/